

宇治・蜻蛉石／蜻蛉石は宇治の里大路方の東三町計三室戸路の左に有。高サは地上五尺計幅は広き所にて一尺四五寸末は五寸計也。石面に如意輪觀音の像を鑄す。案ずるに凡人の作とは見へず。ある人問ふ、地獄にて罪人を責る時の大釜はたれ人の作る所ならん。答て曰、郭巨が堀出せし黄金の釜と同作也。問人口を閉て退ぬ。此蜻蛉石もこれらの同作とやいふべき。